

利用者の判断を聞かせてください。 陸上競技場の大規模改修が始まります。 自衛隊練習機の轟音下で、サッカーや グランドゴルフ、陸上競技等での使用 に支障ありませんか？



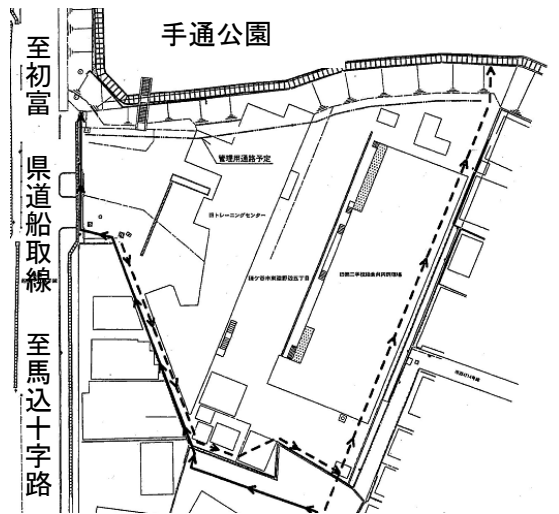
スタジアムの真上を通過し着陸に入る自衛隊機

平成 29 年度から～32 年度までに約 6.8 億円かけて、トラックをウレタン舗装に、インフィールドを天然芝から人工芝に改修し、33 年度以降事業費は未定であるがスタンドを改修するという、大変大規模な改修事業が予定されている。これまで船橋市のグランドを借りて、中学生陸上競技大会を行ってきた不便が解消できる見込みだ。しかし、一つだけ懸念がある。話し声も笛の音もかき消されるような自衛隊機の轟音の直下に位置するスタジアムが、果たして、目論見通りに使用できるのかという疑念が払えないからだ。この日も数分おきに練習機が離着陸訓練をしていた。せっかく改修したのに使用できないという状況が発生しては困る。関係者の皆さん、是非、ご判断を聞かせて欲しい。

日本ハム球団は鎌ヶ谷市に球場を建設するまで、多摩川沿いの球場で練習・試合をしてきたという。近くを通る電車が選手の視界に入り集中できないため、電車が通るたびに練習等を中断せざるを得なかったという。それほどに、スポーツ競技者にとって環境は重要だという実例である。同じことが起きるのではないか。「いずれの団体からも、轟音が支障になるは聞いていない。」と市の答弁だ。しかし、市民の声は知ろうとして聞かねば聞こえてこない。きりりホール通路・座席への評価がその例だ。本当に大丈夫かどうかを早急に確かめ、支障があるならそれを前提に工夫をすればよい。

4,700 m²の船取線沿い公用地の活用に関して、皆さんのご意見をお聞かせください。

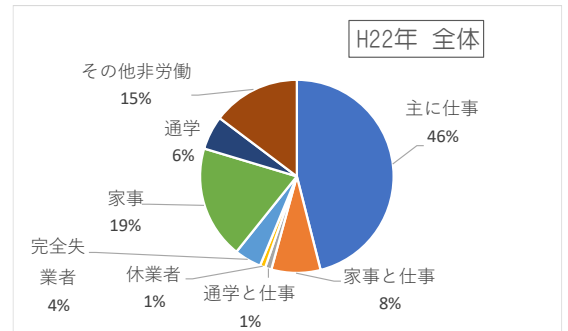
東道野辺の旧トレーニングセンター跡地 4,700 m²の活用方針がこの間検討されてきている。周辺地域の悩みである雨水冠水被害解消のため、雨水排水管(……▶)をまずは、この土地の周辺に設置することを決定し、予算を可決した。残りの土地利用については、平成 27 年 4 月、役所内部の検討委員会の最終報告の中で、「民間への売却」の可能性が示されてきた。しかし、公共施設が圧倒的に少ない南部地域に残る唯一の可能性を秘めた土地である。跡地利用に関しては、市民の財産である以上、所有者である市民の活用をまず優先して検討していかねばならない。かつて、トレーニングセンター存続を求めた強い声もあった。特に、南側地域に暮らす皆さんの声を聞かせて欲しい。



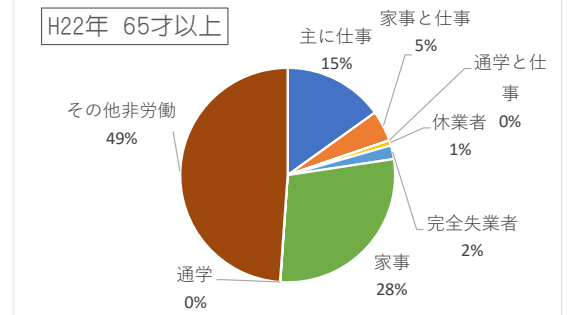
「少子高齢化」というけど、何がそんなに心配ですか？ 長く働き続けられること、自分の意思で動けることを目指す

平成 22 年の国勢調査 (H27 は未発表のため H22 が最新)、鎌ヶ谷市民で何らかの収入ある仕事をしている割合が 55% (H17 調査 59%)、65 才以上を抜き出してみると、20% (H17 年調査 19%) と、5 年間ほぼ横ばいであることが分かった。少子高齢化が何故心配かという、就労して納税する人の割合が減り、公費で福祉サービスを受ける人の割合が増加するので、財政が保てなくなるとの心配だと考える。こうした心配を解消する策を実行する必要がある。1つ目は個人の所得が増え、使えるお金が増えるよう、収入を得る仕事にできるだけ長期間携わること。2つ目は、自らの足で好きなところを歩き続けられるよう、今より少しだけ運動習慣を組み込むこと。仕事をしている人はしていない人と比べ、特に男性では生存率に大きく差が出ている。医療費や介護費用も当然少なく済んでいる。こうして収入を増やして支出を減らせば、個人も幸せだし、自治体にも活力が注入される。働く人の比率を常に 60%以上に引き上げること、それには、「家事と仕事」を増加させ、「その他非労働」を減少させることだ。そのために、地域密着型の中間的就労の仕組みは是非実現させたい。最低賃金に依らない地域通貨制度も使える手法だろう。私自身も最近、運動不足と加齢による身体機能低下を恐れて、ストレッチやポールウォーキングを始めた。少しでも「よい」ということを実行することで、一日の張り合いやリズムが生まれ、なんとなく体が軽くなる。気分だけでも大事！

国勢調査 H22、鎌ヶ谷市分より



H22年 65才以上



♪黄色い封筒が届き、失われた国民年金復活♪ 申請手続き支援を国は市職員に委託したらよいのに・・・

未だ 2000 万人分もあるという、誰のものかわからない失われた年金記録。確か、かつて安倍総理は最後の一人まで徹底的に解明すると宣言していたはずだ。早くしないと、無年金のまま生涯を終える人がたくさん出てしまう。黄色い封筒が来たが、何をどう書いていいのかわからないという 70 歳代、一人暮らしの男性が相談に来た。40 年間掛け続けた国民年金の記録が分かったという。この間、15 年近く無年金のまま今に至っているという。過去、年金事務所を訪ねても「わからないですね～」という対応をされたともいう。黙っている真面目な国民がバカを見るのだ。

封筒に入っているたくさんの書類にお手上げ状態。年齢がかさむ、相談する人がいないことで、せっかく分かって申請できずに終わってしまう人もいるに違いない。資料を見ながら、申請書類の記載を手伝うが、出来上がった書類を送る封筒がない。どこに送っていいのを探すのにまた一苦労した。結局、国民年金のみだったので市役所に持参で良いことがわかった。この不親切さは申請させまいという意図かと勘ぐってしまう。社会保険庁は市町村に委託して、一人一人にお詫びしながら申請書類記載を手伝いしたらよい、提出までを市職員が手伝えれば確実に復活できる。